

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力	育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度かどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 プレゼン教育・歩み寄り教育・キャリア教育・郷土教育・ICT教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③地域の関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②子どもの自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	心（みつめる）知（もとめる）体（やりきる）調和の取れた生徒の育成	目標に向かって、自己調整しながら進む力	愛言葉	心根を培い、誰もが幸せになれる学校	①自己調整力を身に付ける場を位置づけ、確かな学力をつける授業を創造する	DXを活用しながら「判断する・挑戦する・考える」授業の工夫を行う。アンケート項目「自分に合った学び方を選び、学習を進めることができる」への肯定的な回答80%以上を目指す。	A	○「自分に合った学び方を選び、学習を進めることができる」への肯定的な回答が4月83%から12月91%と向上した。 ○「SNF交流を通して、自分の考えを深めることができる」への肯定的な回答が4月72%から12月92%と向上した。 ▲「自分で決めた時刻に家庭学習を始めることができる」への肯定的な回答が75%と目標達成できなかった。 ⇒生徒会活動と連携を図り、効果的なSNF交流の充実を図るとともに、家庭と連携を図り、学力定着に向けた家庭学習の工夫を図っていく。
						②生徒が主体的に参画する「S(双方向)・N(納得)・F(深い学び)」を充実させる	アンケート項目「SNF交流を通して、自分の考えを深めることができる」への肯定的な回答80%以上を目指す。	A	
						②個別最適な学習を充実させ、学ぶ喜びを味わうことができる生徒を育成する	生徒が自分自身の学習の現状を見つめ、家庭での学習も進められる個別支援を充実させ、アンケート項目「自分で決めた時刻に家庭学習を始めることができる」への肯定的な回答80%以上を目指す。	B	
						②「なりたい自分」の実現に向けた取組を充実させる	年2回の三者懇談で「なりたい自分プレゼン」を位置づけ、成長を自覚できるようにする。アンケート項目「クールで立てた行動目標に近づくことができる」への肯定的な回答80%以上を目指す。	A	
						①先手の不登校対策として、レジリエンス力の向上に向けた取組を充実させる	アンケート項目「ストレスがかかることや苦手なこと、難しいことに対して、前向きに取り組むことができる」への肯定的な回答80%以上を目指す。	A	
						⑤安心できる居場所づくりのための校内支援支援センターを充実させる	組織で、迅速かつ適切な支援や指導を行うことで、個別支援を充実させる。アンケート項目「学校では、安心して生活できている」への肯定的な回答80%以上を目指す。	A	
						③地域と協働したSDGs学習の推進	地域連携アドバイザーを活かしながら、SDGsの視点から、外部人材と協働した「高山の魅力探究活動」を充実させる。	A	
						②地域に貢献できる活動の推進	生徒会活動や総合的な学習、立志太鼓の活動において、老人介護施設や商業施設における地域の方との交流やスポGOMI甲子園Jr.への参加などを仕組み、地域貢献活動を充実させる。	A	
						③関係機関や関係者と連携した危機管理の徹底	消防署や高山日赤病院と連携しながら、様々な状況を想定した命を守る訓練、アレルギー対応等の研修を実施する。	A	

学校運営協議会における主な評価内容

○役職退職した先生方が生き生きと授業を行っている姿が印象的だった。中には、タブレットを使いこなしている先生もいた。そんなベテラン教員の姿を手本にして、若手教員が勉強していけるとよい。
 ○新しいタブレットが導入されたが、ノートをきっちりとっている授業が多く安心した。IC機器が発達したとはいえ、やはり書く力をつけさせることは必要であり、これからも大切にしていこう。